

基本CD-ROMドライブ交換機構-CD-R/RW(CL1CD32) および

内蔵CD-R/RWDライブユニット(CLECD32) をお使いのお客様へ

富士通株式会社
2001年12月

このたびは弊社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

本紙では、基本CD-ROMドライブ交換機構-CD-R/RW(CL1CD32) および内蔵CD-R/RWDライブユニット(CLECD32) をお使いになる上で知っておいていただきたいことを記載しています。本紙および取扱説明書をよくお読みになり、本製品を正しくお使いいただきますようお願いいたします。また、本紙は、本製品の使用中にいつでも参照できるよう大切に保管してください。

メディアの読み込みについて

本製品で読み込みを行う際、メディアの状態により正しく読み込みができないことがまれにあります。このような場合は、メディアを確認してから、再度読み込みを行ってください。

なお、このとき、OSのイベントログに以下のようなログが記録される場合があります。

- ・ソース atapi イベント ID 9 「デバイス ¥Device¥ScsiPortX はタイムアウト期間内に応答しませんでした。」
- ・ソース odrom イベント ID 51 「ページング操作中にデバイス¥Device¥CdRomX 上でエラーが検出されました。」
(各メッセージ中のXにはドライブを表す数字が入ります)

CD-RおよびCD-RWメディアへの書き込み時の注意事項

本製品では、本ドライブの最大速度に設定して書き込みを行った場合、CD-RおよびCD-RWメディアの種類や状態により、正常に書き込みができない場合があります。この場合、速度設定を低くして書き込みを行うか、別のメディアをご使用ください。

なお、書き込み速度の設定方法については、ライティングソフトの取扱説明書をご参照ください。